

会報

あ や め



第100号

令和5年2月6日

発行／社会福祉法人 平野の里・あやめ寮
幸手市大字平野920番地 TEL 0480-48-1271 FAX 0480-48-1060
あやめ寮HP <http://www.shienshisetsuayame.jp>

祝100号





新年のご挨拶

平野の里理事長 島田 貞一
あやめ寮施設長 大澤まさ江
地域課施設長 柿沼 隆史

新春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当施設の運営経営に深い理解と温かいご協力を頂きまして誠に有難うございます。コロナ禍ではありますが、今年も益々努力をして参りますので宜しくお願い申し上げます。

昨年に引き続き本年もコロナ禍ですが、命を一番大切に、喜びの多い生活にしたいと思います。対策を取りつつ社会に出て、景色をみながら希望されている買い物や好きな食事ができるよう計画しています。ご家族の方との面会も対

面で、今の利用者様とお会いになつて下さい。地域の方との盆踊り大会・チャリティエスターの交流は大きな効果となっていましたのは是非再開できることを願っています。コロナ禍で見えた人権問題を読みましたがハンセン病で起こったことがコロナ禍でも起こったとあり、これを般化というそうですが私達は今も大きな危機感と戸惑いからぬけだせません。是非コロナ禍での対応の検証はすべきと考えます。

一昨年は施設本体の改修工事を行い利用者様の介護がスムーズになり、居室も綺麗になりました。早速ドアに穴を開けた方もいますが、修理していきます。三十五年前の建築費より多額の改修費でしたが、二代目施設長の教えを信じ先を見て少しづつ貯金をしておいたです。年末に中長期計画を話し合いました。今現在も重要なですが、二十代の利用者様の三

十年後さらに長期を考えると建て替えが必要になり、後継者が困らないように自己資金の貯金計画は少しでも続けてまいります。幸いにすばらしい職員に恵まれていますので、より働きやすさとモチベーションの上がるよう共有を図っていきたいと思います。

地域のグループホームの在り方・お客様の増えてきた相談支援ひらのと私達の見える範囲、共有できる範囲で福祉の心を確かめあいながら、理念に沿って頑張つてまいります。最後に子ども食堂も時々畠でとれたての野菜をおみやげとして差し上げています。ぜひ、あやめ食堂もご利用頂けますようお待ち申し上げます。

(創刊号を編集したのが昨日のこのように思い出されます。)

ご挨拶

保護者会会長 石井 八重子

明けましておめでとうございます。

「会報誌あやめ第一〇〇号」発行おめでとうございます。令和五年がやってまいりました。

オリジナルカレンダーを眺めていますが、歳を重ねる事に加速してますこの頃でございますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年もコロナウイルスに翻弄され続けました。先生方には、より一層のご苦労だった事と存じます。利用者様が元気に安心して暮らす事が出来るのも先生方のお蔭と感謝する次第でございます。本当にありがとうございます。

今年こそは、皆様が対面での面会やイベントが開催されます事を願っております。

皆様、お身体には十分お気をつけてくださいますようにお祈りをしております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申上げます。







2023採用内定式

いい介護の日に開催

副施設長
杉村 健



内定者が確定した昨年一月一日（いい介護の日）に内定式を開催することができました。内定式に際し、十月にはオンラインによる交流会を開催。実際の内定式は、続くコロナ禍ということで、施設内にて感染対策を講じた企画、平野の里らしくアットホームな会となりました。本期の内定者の皆様は、インターん等で早い段階からご縁があつた方・現場体験などを限られた時間の中でも中身の濃い接点を持たせて頂いた方が多く、県外出身者も多数というものが特徴です。前向きで個性豊かな仲間が平野の里を新たな活躍の場として決断され、この日を迎えることができました。今春、春風と共に彩り豊かな花がさらに平野の里に咲くことが楽しみです。

平野の里では、毎年新卒採用により新たな仲間を迎えており、今期もインターンや説明会などで多数の学生の皆様とのご縁の中、最終的に五名の

平野の里における

ソーシャルワーク実践現場

相談支援専門員
瀬谷 真五



温かいご協力に

深く感謝申し上げます。

●協力会・寄付金

（令和四年九月一日～令和四年十二月三十一日）

加藤千葉香川石井勝二留美子孝正子
柴崎淳夫冒田昌之
大森力安田
有小池畠店
知的障害福祉の会

頂き物

順不同 敬稱略

葛西 武次 (株)高岡電気工業
ハーベスト株式会社 鈴木理容店
大阿蘇水質管理株式会社 野川石油
落合理容店 (株)アサヒクリエイト
武藏野短期大学 ヴァーサス
東京未来大学 JA埼玉みずほ
金子自動車 (有)遠藤弘商店
相談支援事業所リアン
相談支援事業所心安

余暇活動、食生活、健康管理に関する機会を提供すると同時に、個別に必要な支援をしています。「福祉介護」というイメージを持たれる方も多いと思いますが、ADLの状態も人それぞれで、変化していくものです。また、直接支援とは異なりますが、利用者さんのご家族や後見人との関わり、地域とのつながりもあります。

こうした『生活歴を知る』『個々に必要な支援は何か?』『利用者さんのニーズって?』といふことを聞く、または行動から観察し、アセスメントをした上で、個別支援計画を立て、多職種で連携しながら支援を行っています。

ソーシャルワーク実習では、このような一連のプロセスを体感できる機会であり、将来の社会福祉士像を描くきっかけのひとつにしてもうえたらと思っています。

こうした『生活歴を知る』「個々に必要な支援は何か?」「利用者さんのニーズって?」ということを聞く、または行動から観察し、アセスメントをした上で、個別支援計画を立て、多職種で連携しながら支援を行っています。

ソーシャルワーカー実習では、このような一連のプロセスを体感できる機会であり、将来の社会福祉士像を描くきっかけのひとつにしてもうたらと思っています。

渡辺 鈴木 加藤 小須田 峯内田 鈴木 島田 由奈 孝正
一利 森本 幸子 久枝 裕美子 正徳 りう子 久江
柏諭支拵事業所心様
内田 大森 保子 力 久枝 幸子 裕美子 田安 清水
森田 高橋 和男 靖子 広子 洋子 晃大輝 光一
川船 信戸 知久 幸一郎 昌之 裕子 田安 清水
和田 高橋 和男 靖子 広子 洋子 晃大輝 光一
和田 高橋 和男 靖子 広子 洋子 晃大輝 光一

※記入漏れがありましたらお許しください。